

第6章 母子保健計画

1. 評価と今後の方向性

母子保健計画の策定にあたっては、「健やか親子 21（第 2 次）」で示された課題や指標を基本とすることが厚生労働省の母子保健計画策定指針にうたわれており、本市においても、「すべての子どもが健やかに育つ社会」の 10 年後の実現に向けて、3つの基盤課題と2つの重点課題を設定し、課題に対し実施する事業並びに、5年後と10年後の目標値を設定しました。また、各課題に対する指標の現状値をみることで、今後の方向性について検討しました。

基盤課題

- A 「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」
- B 「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」
- C 「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」

重点課題

- ① 「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」
- ② 「妊娠期からの児童虐待防止対策」

■ 基盤課題について

A 「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」

現状と課題

指標の 10 項目の課題のうち目標達成・改善したものが 4 項目、ほとんど変化がみられないものと評価ができなかったものが 5 項目、悪化したものが 1 項目でした。全国と比較すると、乳幼児健診の受診率は高くなっていますが、妊婦の喫煙率が計画策定時より増し、全国の値と比べても高い値になっています。

今後の方向性

妊娠初期からのアプローチが育児期への支援につながるため重要であり、平成 31 年 1 月に、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から出産・育児まで継続した支援ができるよう、体制を整備しました。今後、支援内容の充実と関係機関との連携を深めていきます。

B「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」

現状と課題

指標の3項目のうち2項目が改善しており、小学5年生と中学2年生の朝食の欠食率においては全国と比べ低い値となっていますが、中学生の喫煙率と飲酒率については低下したものの全国と比べ高い値となっています。

今後の方向性

思春期での健康に関する知識の普及が必要と考えられることから、思春期教室に取り入れています。また、幼児期からの食生活が思春期以降にもつながるため、食育事業を進めます。

C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」

現状と課題

指標の6項目のうち改善がみられたものが1項目、目標達成が継続できているものが1項目、評価できないものが4項目でした。全国と比べると、マタニティマークの普及率は高い値となっていますが、この地域で子育ての継続を望む割合や、父親が主体的に育児に関わっていると感じている割合が低い状況となっています。

今後の方向性

親子教室や子育てサロン等で親子が交流できる機会をつくり、子育てのしやすい地域づくりを進めます。また、母子健康手帳交付時やマタニティスクール等で、父親も育児のイメージを持つことで育児参加への主体性を育成します。

■重点課題について

①「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」

現状と課題

指標で中間評価できる項目はありませんが、全国の値と比べると、育てにくいと感じる親の割合は少なく、子どもの社会性の発達過程を把握している親の割合は低い状況となっています。

今後の方向性

核家族化や地域のつながりの変化により、育児の孤立が考えられます。各乳幼児健診や親子教室等で、子どもの社会性や発達過程を伝え、年代に応じた対応ができるよう育児支援に努めます。

子どもに発達障害の疑いのある場合は、支援のためのサービス利用を進めます。

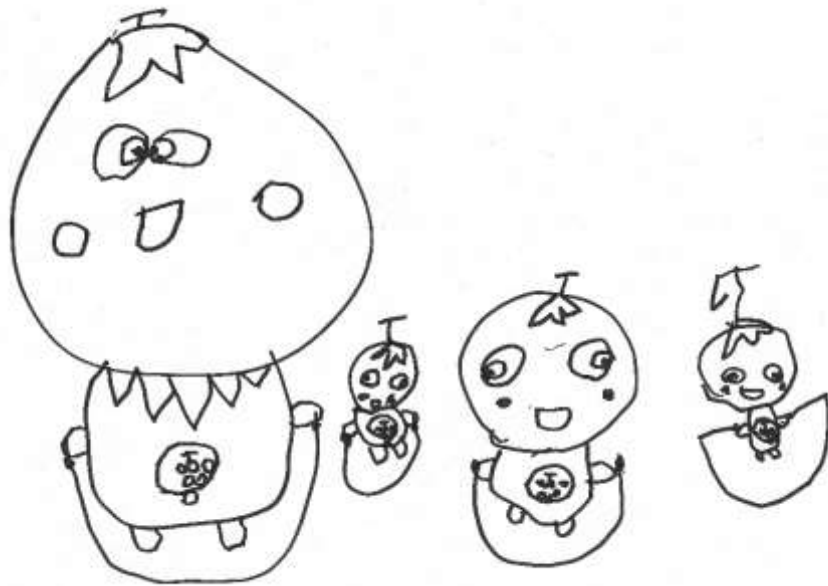
②「妊娠期からの児童虐待防止対策」

現状と課題

目標達成できている指標項目が1項目、評価できない項目が4項目でしたが、各乳幼児健診の受診率や、乳幼児揺さぶられ症候群の認知度は全国に比べ高い値になっています。しかし、子どもを虐待していると思う割合は全国より高く、子どもの年齢とともに高くなる傾向は全国と同様です。

今後の方向性

児童虐待予防のために、子育て世代包括支援センターにおいて妊娠届出時個別に面接することで、妊娠期から相談窓口の啓発や、必要な方には妊娠期・出産後早期に家庭訪問を行い、育児に関する相談を受け、各サービスの調整や情報提供にて育児不安の軽減を図ります。また、乳幼児健診未受診者の全数把握に努めるとともに、医療機関や関係課との一層の連携を図ります。



2. 基盤課題

	指標名	計画策定時 平成 26 年値	5年後 目標	現状値 平成 30 年値	全国の値 平成 28-30 年値	10 年後目標	取り組み事業名等	
A 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策	低出生体重児の割合	8.9%	減少	6.6%	10.1%	減少	・妊娠届出時に保健師が全数面接を実施し、必要時支援計画の作成と支援の実施	
	妊娠・出産に満足している者の割合	調査予定	調査後に設定	83.0%	82.8%	85.0%	・妊娠 11 週以降での妊娠届出遅延者に対するの聞き取りの実施	
	むし歯のない 3 歳児の割合	85.8%	86.0%	85.8%	85.6%	90.0%	・喫煙・飲酒についての妊娠届出時のアンケートの実施と保健指導の実施	
	妊娠中の妊婦・両親の喫煙率	母 3.8% 父 41.5% (全国調査)	0.0% 30.0%	4.8% 41.0%	2.7% 37.7%	0.0% 20.0%	・妊娠中の健康管理の情報提供 ・妊婦健診の費用助成と還付制度	
	妊娠中の妊婦の飲酒率	4.3%	0.0%	1.0%	1.2%	0.0%	・マタニティマークの啓発 ・母性健康管理指導事項連絡カードの普及啓発	
	乳幼児健診の受診率	4ヶ月	99%	100%	97.5%	95.5%	100%	・マタニティスクールの開催 ・医療機関との連携と協議
		1歳6ヶ月	95.6%	97.0%	97.5%	96.2%	100%	・要養育支援者情報提供票の活用
		3歳6ヶ月	90.6%	94.0%	95.9%	95.2%	100%	・養育医療申請者の面接の実施 ・予防接種法に基づく予防接種の実施
	小児救急電話相談（#8000）を知っている親の割合	調査予定	調査後に設定	84.3%	79.8%	90.0%	・新生児訪問の実施 ・離乳食講習会の実施 ・あそびの教室開催	
	仕上げ磨きをする親の割合	調査予定	調査後に設定	77.2%	73.1%	90.0%	・乳幼児健診での歯科衛生士による教育の実施 ・むし歯予防試験の実施	
妊娠 11 週以下での妊娠の届出率	94.0%	100%	94.1%	93.0%	100%	・むし歯予防教室の実施 ・よい歯のコンクールの開催		
1 歳までに BCG 接種を終了している者の割合	99.0%	100%	99.3%	98.8%	100%			

	指標名	計画策定時 平成 26 年値	5年後 目標	現状値 平成 30 年値	全国の値 平成 28-30 年値	10 年後目標	取り組み事業名等
B 学童期・思春期から成人期にむけた保健対策	十代の喫煙率	小学生 男子 4.0% 女子 0.8% 中学生 男子 5.2% 女子 2.2% (健康はびきの 21 アンケート調 査より)	0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	小学生 男 4.9% 女 1.2% 中学生 男 3.2% 女 1.1% ※過去に喫煙した、 したことがある割合	— — 男 0.4% 女 0.4% ※この 30 日間に 1 日でもタバコを吸 った割合	0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	・思春期教育の実施と充実 (健やかな成長のための健康 管理、STI(性感染症)の知 識の普及、妊娠出産育児に 関する正しい知識の普及、 思いがけない妊娠を避ける ための保健指導の実施) ・教育委員会との連携 ・相談機関の紹介(妊娠SOS 等の紹介) ・親子クッキングの開催
	十代の飲酒率	小学生 男子 39.9% 女子 24.2% 中学生 男子 31.5% 女子 39.8% (健康はびきの 21 アンケート調 査より)	0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	小学生 17.8% 中学生 18.6%	— 男 3.6% 女 2.7%	0.0% 0.0%	
	朝食を欠食する子どもの割合	小学5年生 6.7% 中学2年生 9.6% (健康はびきの 21 アンケート調 査より)	0.0% 0.0%	小学5年生 6.4% 中学2年生 7.2%	15.2% 20.2%	0.0% 0.0%	



	指標名	計画策定時 平成 26 年値	5年後 目標	現状値 平成 30 年値	全国の値 平成 28-30 年値	10 年後目標	取り組み事業名等
C 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	この地域で子育てしたいと思う親の割合	調査予定	調査後に設定	88.0%	94.5%	95.0%	・マタニティマークの啓発 ・マタニティスクールのプログラムの工夫(育児レッスン、父性の教育)
	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	調査予定	調査後に設定	89.7%	90.2%	95.0%	・妊娠届出時に父性を意識した啓発活動を実施
	マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合	52.3% (全国調査)	60.0%	74.4%	69.2%	80.0%	・子育てサロンでの教育・相談の実施 ・家庭訪問、育児相談の実施 ・事故予防教育の実施 ・母性健康管理指導事項連絡カードの啓発活用
	主体的に育児に関わっていると感じている父親の割合	調査予定	調査後に設定	57.3%	59.9%	70.0%	・離乳食講習会の開催 ・あそびの教室の開催 ・健診未受診者の全数把握
	乳幼児健診の未受診者の全数の状況を把握しているか	把握している	継続	把握している	把握している	継続	・各種健診での個別相談の実施 ・各関係機関との連携 ・地域資源の紹介
	事故予防対策を実施しているか	調査予定	調査後に設定	43.9%	46.5%	80.0%	

3. 重点課題

	指標名	計画作成時 平成 26 年値	5年後 目標	現状値 平成 30 年値	全国の値 平成 28-30 年値	10 年後目標	取り組み事業名等
① 育てにくさを感じる親に寄り添う支援	育てにくさを感じているか	調査予定	調査後に設定	4ヶ月 7.9% 1歳6ヶ月 19.1% 3歳6ヶ月 27.2%	13.0% 23.9% 33.8%	※95.0% ※「育てにくさを感じたときに対処できる親の割合」に変更	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の実施 ・経過観察健診の実施 ・フォロー教室（パンダ・きりん）の実施 ・家庭訪問、育児相談の実施 ・各関係課との連携強化 ・藤井寺保健所との連携強化
	子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	調査予定	調査後に設定	89.0%	89.4%	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・専門病院、療育機関への紹介と連携
	就学前の障害児に対する通所支援の利用数			月平均利用者数 12 人 障害福祉課より	月平均利用者数 98,585 人	—	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外向健康教育、相談の実施 ・はびきの子育てネットへの参加
	発達障害をはじめとする育てにくさを感じる親への早期支援体制の有無	調査予定	調査後に設定	実施予定	64.9 % の 市区町村	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修参加の機会の保障 ・保護者向け勉強会の実施 ・ペアレント・サポート事業の推進 ・乳幼児健診の実施
② 妊娠期からの児童虐待防止対策	児童虐待による死亡数	0人	0人	0人 こども課より	—	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に保健師が全数面接を実施（被虐待歴やDVを受けた有無等の聞き取り）し、必要時支援計画の作成と支援の実施
	子どもを虐待していると思う親の割合	調査予定	調査後に設定	4ヶ月 13.6% 1歳6ヶ月 26.2% 3歳6ヶ月 45.9%	7.9% 19.7% 38.9%	※ 95.0% 85.0% 70.0% ※「体罰や暴言に頼らない子育てをしている親の割合」に変更	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の実施 ・健診未受診者の全数把握 ・経過観察健診の実施 ・妊産婦への家庭訪問、育児相談の実施 ・妊娠期からの教育（孤立しない支援、揺さぶられ症候群の予防の啓発） ・こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問の連携強化

	指標名	計画作成時 平成 26 年値	5年後 目標	現状値 平成 30 年値	全国の値 平成 28-30 年値	10 年後目標	取り組み事業名等
② 妊娠期からの児童虐待防止対策	乳幼児健診の受診率 (再掲)	4ヶ月 99.0%	100%	97.5%	95.5%	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健連絡協議会(出産医療機関と藤井寺保健所管内4市との調整会議)の開催 ・児童虐待防止の啓発活動(チラシ配布、ポスター掲示、相談窓口の普及) ・虐待リスクアセスメントシート の活用 ・関係機関との連携強化 ・要保護児童対策協議会への参加 ・マイツリー等親支援事業の紹介 ・子育てサロンでの虐待予防の啓発 ・EPDS、赤ちゃんの気持ち指標を活用して相談につなげる ・あそびの教室の開催 ・思春期教室の開催 ・情報共有、組織としての対応マニュアルの作成 ・社会資源の情報提供 ・定期的な事例検討の開催 ・むし歯保有率との関連を重視した対応
		1歳6ヶ月 95.6%	97.0%	97.5%	96.2%	100%	
		3歳6ヶ月 90.6%	94.0%	95.9%	95.2%	100%	
	児童虐待防止法で国民に求められた児童虐待の通告義務を知っている市民の割合	調査予定	調査後に設定	調査方法の検討	52.7%	90.0%	
	乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	調査予定	調査後に設定	98.7%	97.3%	100%	
対象家庭すべてに対し乳児家庭全戸訪問を実施しているか	実施している	継続	継続	実施している市町村 99.6%	100%		

現状値の数値は、令和元年度健康づくり推進協議会資料、健康はびきの21計画(第2期)後期計画、平成30年度健やか親子21(第2次)指標調査結果、平成30年度妊娠届アンケート結果に基づくものです。

